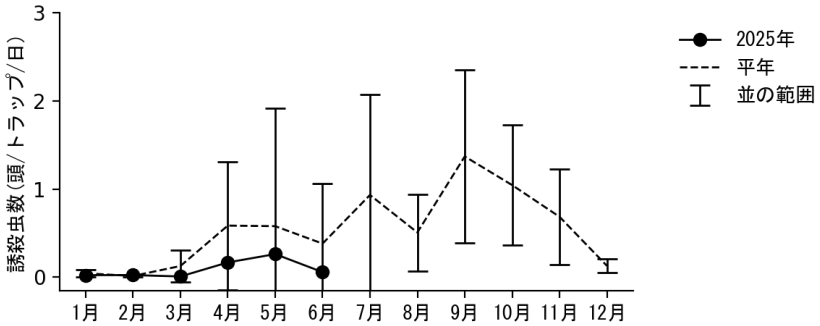
令和　7 年度　　7 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並	
予　報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

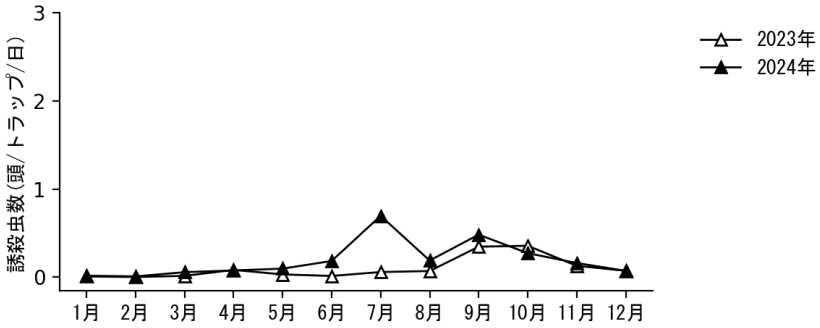
調査結果

トラップ当たり誘殺虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率100%（平年：58.0%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

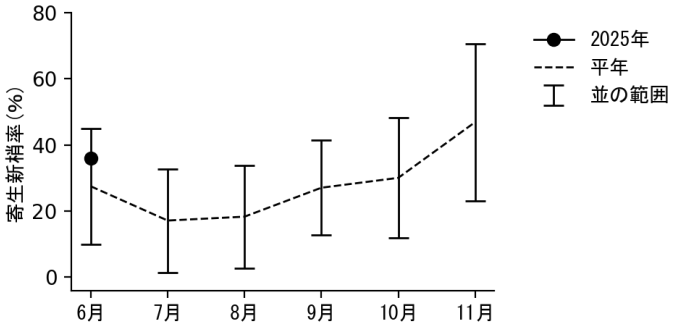
令和　7 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	① マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並		
予報	6 月からの増減傾向	↘		
	7 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

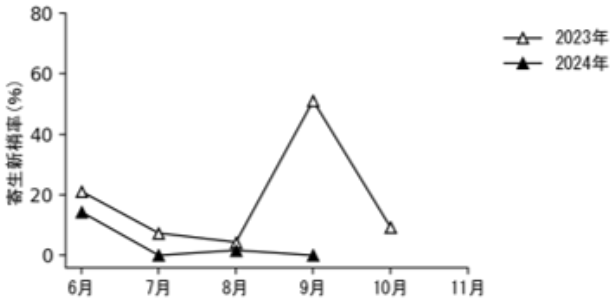
調査結果

発生株率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率100%（平年：57.9%）

防除のポイント

・本種は繁殖スピードが速く、また幼虫の脱出痕から炭疽病等に感染しやすくなることから、被害葉及び不要な新梢を除去し、施設外に持ち出し処分する。

被害葉

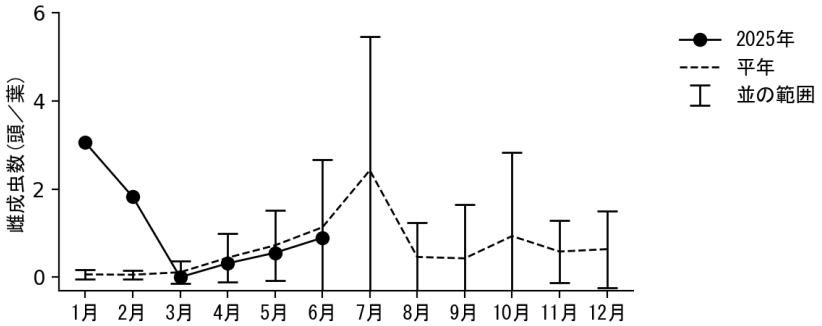
令和　7 年度　　7 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類		マンゴーツメハダニ	
調査結果	6 月の発生量（平年比）	並		
予報	6 月からの増減傾向	↗		
	7 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

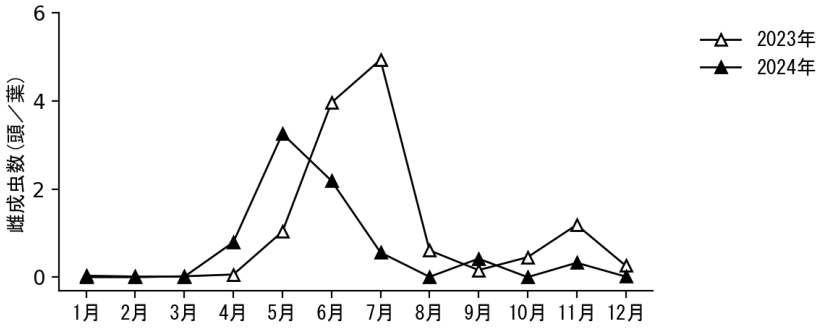
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生種：マンゴーツメハダニ（92.5%）、シュレイツメハダニ（7.5%）

・発生施設率60.0%（平年：42.9%）

防除のポイント

・収穫終了後の防除を徹底する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状

シュレイツメハダニ